

1 学校教育目標

よく学び、心豊かでたくましい児童の育成
 ～自己解決力のある学び続ける児童の育成
 「自己解決力」とは、思考し、自己決定し、行動する力

(1) めざす児童像

- 自分の思いや考えを伝え合える子
 - ・人の話をよく聞き、自分の意見や考えを話すことができる。
 - ・課題を進んで見出すことができる。
- 考え、行動しようとする子
 - ・自分自身で行動を選択して、主体的に行動できる。
 - ・物事に粘り強く取り組むことができる。
- 支え合って伸びようとする子
 - ・向上心をもって挑戦できる。
 - ・自分と同じように他の人も大切にできる。
 - ・協働ができる

(2) めざす学校像

- 子どもたちが安全に生活でき、笑顔で学ぶことができる学校 (学校大好き)
- 教師としての情熱と使命感をもち、全教職員で学校教育目標の具現化に向けて努力する学校 (先生大好き)
- 「自己解決力のある子ども」が育つ学校 (勉強大好き)
- 信頼と協働により、子どもたちを取り巻くすべての環境と連携して子どもたちが育つ学校 (地域や友だち・家族大好き)

(3) めざす教師像

- 教育者としての自覚と誇りをもち、「俯瞰（ふかん）する能力（力）」を有した「人情味のある教師」
 - * 「俯瞰する能力」・・・「全体像を把握して教育活動を進める能力」。
 - 「俯瞰する力」＝「想像力」・・・「先を見通し、場を把握する能力」→「客観的に物事を見て、細部に気が付く教師」
 - * 子供の実情、保護者のニーズを把握し、指導方法を改善していく教師
 - * 子供の声に丁寧に耳を傾け、保護者に寄り添える教師
 - * 場に応じて「指導」と「支援」と「応援」を効果的に使い分ける教師

児童と教師との「4つの合い言葉」 （基本的生活習慣の重点）

さ さわやか えがおで げんきな あいさつ
 ん しんけんに こころできこう あいてのはなし
 の じかんぴったり のびゆくまなび
 う うつくしい がっこう ピッカピカ

2 経営の方針

令和7年度キャッチコピー

～みんな大好き山王っ子～

*みんなで作ろう みんなの学校

学校大好き

- ・自分から爽やかに笑顔で、元気良くあいさつをする。
- ・一人一人に安心できる居場所がある。
- ・危機管理意識（さしすせそ）を常にもち、子どもの命を第一優先に行動する。
- ・一人一人の子どもへの丁寧な関わりにより、いじめ防止、虐待や不登校の早期発見・即対応に努める。
- ・暴言・体罰および信用失墜につながる教職員の不祥事を絶対に起こさない。
（先生大好き※先生は、怖い存在ではなく、何でも話せる頼れる存在）
- ・言語環境・清掃活動・奉仕活動・時間内行動を中心に教職員の率先垂範に努める。
- ・日々、教師としての教育力（人間力・授業力）の向上を目指す。
- ・職務に主体的に取り組み、助け合う。

（勉強大好き）

- ・全教育活動を通して、「自己解決力のある子ども」が育つ指導を実践する。
- ・子どもたちの学ぶ意欲を向上させる。（自己実現のある学び、授業の導入・振り返りの工夫）
- ・単元計画・一単位時間の展開計画の中で、つけたい力を明確にした上で発問を工夫し、
子どもたちの主体的に考える力をつける場面（時間）
集団で話し合い、考えを広げ深める力をつける場面（時間）
習熟および知識の定着を図る場面（時間）
を明らかにして場面に応じて効果的にICTを活用する授業を実践する。
- ・学びの基礎となる読書・音読・語彙の習得や計算力向上の機会を確保する。
- ・ICT（タブレット）の効果的な活用を推進していく。

（地域や友だち・家族大好き）

- ・「自助・共助」の精神を育み実践できる場を提供・設定する。
- ・様々な情報発信・情報提供を積極的に行う。また、教職員・子どもたち・家庭・地域の4者による学校評価を学校改善に生かす。

3 重点推進事項及び具体的方策

（1） 確かな学力の向上

①主体的・対話的で深い学びの実現

- ・学習過程を大切にした授業展開（学習問題の設定から振り返りまで）
- ・「聞く・話す力」の向上（認め合う力）
- ・教材研究の充実（発問・資料・思考の見取り）
- ・体験習、地域人材を生かした学習の有効的な活用

②生徒指導の3機能を生かす（共感・自己決定・所属感）「わかる授業」「学ぶ喜びのある授業」

- ・実践的校内研修の実施（相互参観・国語科を中心とした授業研修）
- ・10のユニバーサルデザインによる授業実践
- ・児童理解を深め、安全・安心な学校・学級の風土を創り出し児童一人一人が事故存在感を感じられる授業づくり

③基礎・基本の定着

- ・1時間毎の明確な目標設定と、理解度・定着度の確認
- ・読書活動の充実
（読書タイムの充実・貸出冊数の向上）・読み聞かせ・調べ学習・市図書館との連携

・授業・学習の3つの「し」、自学ノート、立腰タイム

- ・繰り返し学習（ドリル・ちばっ子チャレンジ100・ドリルパーク等の活用）

④ICT 機器の活用（GIGA スクール構想の実現）

- ・プログラミング教育の計画的実施

・手書きと手打ちの選択

- ・タブレット端末の効果的活用

⑤特別支援教育の推進

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制
- ・関係機関との連携
- ・個別の教育支援計画及び応援計画（個別の指導計画）の作成及び活用
- ・通常級にいる支援を要する児童への支援体制の構築
- ・個別指導の充実

（2）豊かな心の育成

①人権教育の充実

- ・福祉交流活動の推進（「愛光」「印旛特別支援学校佐倉分校」）
- ・縦割り活動の充実（全校遊び（第2火曜ロング昼休み）・全校遠足・6年生ありがとう集会）

②「福祉教育」への取り組み

- ・研究教科として全校での福祉教育へ取り組み
- ・全校で福祉施設等との交流活動を通して実践力を養う。

③「いじめ防止対策」への取り組み

- ・生徒指導委員会の計画的実施
- ・教育相談の充実（定期的なアンケートの実施、「あのね箱」の周知及び活用）
- ・生徒指導情報交換の定例開催
- ・指導・支援・配慮による積極的な生徒指導
- ・各学年に応じた情報モラル教育（SNS の使い方等）の実施

④道徳教育の充実

- ・「みんなで学ぶ」道徳科授業の実践（考え議論する道徳）
- ・道徳力の向上
- ・全教育活動を通じた道徳教育の実践（道徳的实践力の向上）

⑤規律ある生活態度

- ・「さ・ん・の・う」の定着（あいさつ・廊下歩行・名札）

⑤キャリア教育の推進

- ・佐倉学の実践（道徳科・総合的な学習の時間・佐倉学検定への参加）
- ・キャリアパスポートの積み重ね（夢や希望、振り返り、学年発達課題に応じた進路指導）
- ・「総合的な学習の時間」の充実（課題設定・課題迫及・表現・地域との交流・情報活用・社会や人々への関心）

(3) 健やかな体の育成

①体力・運動能力の向上

- ・運動量に満ちた体育学習の質的向上
- ・体育授業における運動量の確保
- ・外遊びの奨励（教師も共に）
- ・体力向上委員会の充実

②健康教育の充実と保健管理の徹底

- ・早寝・早起き・朝ごはんの啓発
- ・歯磨きの推奨（給食後の歯磨きの徹底）
- ・ゲームとの関りやスマホ・タブレット等の使用についての約束

③自校給食による「食育」の一層の推進

- ・給食マナーの共通理解と共通指導の実践
- ・「豊かで安全・安心な給食」の配食（アレルギー対応）
- ・食に関する指導の充実

(4) 開かれ変化に対応できる学校

①家庭・地域との連携

- ・地域人材の積極的活用
- ・丁寧なあいさつ・対応
- ・PTA 活動の推進
- ・「いじめ防止対策会議の開催（年2回実施）」

②安全な学校づくり

- ・防災教育の拡充（「自助・共助」の精神を育み、実践できる力）
- ・集団下校及び安全指導の徹底
- ・防犯・防災計画の見直し、実践
- ・スクールガードボランティア団体等との連携

※年間3回のスクールガードボランティア連絡会議の開催

（登下校見守りボランティア・民生児童委員・PTA・山王自治会）

③情報公開と学校評価

- ・学校だより、学級だより、HP による情報提供
- ・授業公開、各種学校行事の工夫
- ・保護者評価、児童及び職員アンケート（アンケート項目の見直し）、学校関係者評価の実施

④学校経営への参画

- ・協働・協調による学校運営

（ブロック会議の定期的開催・カリキュラムマネジメント・PDCAサイクルの日常化）

- ・報連相の徹底

⑤学校改革の推進

- ・働き方改革・業務改善

※佐倉型カリキュラムのさらなる有効的な活用、業務の効率化、定時退勤日の実施

時間の有効的活用

※生徒指導で取られる時間を日頃からの指導で最小限に

- ・不祥事根絶